



わたくしたちは おはなしをよくききます

私たちが実践している「まことの保育」には「おやくそく」があります。

- ① わたくしたちは みほとけさまをおがみます
- ② わたくしたちは いつもありがとうといえます
- ③ わたくしたちは おはなしをよくききます
- ④ わたくしたちは みんななかよくいたします。

子どもたちは、この4つの「おやくそく」を守りながら、毎日楽しく過ごしています。

この4つの「おやくそく」の中の一つ、『わたくしたちは おはなしをよくききます』がありますが、私は子どもたちの前で話をするとき、「お話を聴くときは話す人の目をしっかりと見て、そして耳と心で聴きましょう。」と言ってから話をします。そうすると、ただ「聞く」というだけではなく、話している人の思いを受け止めたり感じたりしながら「聴く」ことができているように感じます。

これは、全体で誰かの話を聞くときだけではなく、お父さんやお母さん、友達や先生など誰の話を聞く時にも大切なことではないでしょうか。

いつでも、誰のお話でも、このような気持ちや姿でお話を聴くことができるようになってほしいと思います。



幼稚園型認定こども園 和光幼稚園
平成30年10月26日(金)
主幹 三月田 智子

いっぱい遊んで いっぱい大きく なろうね！



幼稚園では、毎日子どもたちが遊びを見つけて楽しく過ごしています。そして、幼稚園教育で大切にしているのは、読み書きなどの知的な能力「認知能力」と呼ばれているものではなく、いろいろなことに興味を持って関わる感性・感情・心情や、困難なことも諦めずに粘り強く取り組む意欲・意思、さらに、友達を思いやる気持ちや周りの人と協働・協力することなどの能力「非認知能力」の部分です。この心の教育を中心とする「非認知的能力」は、やがて小学校以降の教科学習を支える根っこの部分となります。

その中で、私たち教師は、それらを遊びをとおして経験できるように、各学年やクラスの状況に応じた保育をするように心がけています。

幼稚園で友達と遊びながらおもちゃの貸し借りをしたり、遊びのルールを自分たちで決めたり、困っている友達を助けたり、自分の思いを友達に伝えたり……。子どもたちは初めての集団生活の中で、たくさん学んで心も身体もそして考え方もたくましく成長しています。

